

あらや

衆 報

NO. 119 平成24年8月1日

- 2 3 新屋振興会定期総会
- 4 5 特集
- 6 7 新屋の教育現場から
- 8 9 新任あいさつ
- 10 11 新屋の伝統行事
- 12 13 トピックス

発行・新屋振興会 会長 藤澤 浩
 編集・新屋振興会広報部
 印刷・(株)全農ビジネスサポート秋田支店

新たな夢をめざして 4年制へ



あいさつ



新屋振興会

会長 藤澤

浩

平成二十五年四月に開学する予定の「秋田公立美術大学」の基本構想が、広報あきたの平成二十四年二月三日号に発表されました。

新大学の名称は、「秋田公立美術大学」。次の基本理念に基づき、これまでにない特色を持った魅力的な大学をめざします。

・新しい芸術領域を創造し、挑戦する大学

・秋田の伝統、文化をいかし発展させる大学

・秋田から世界へ発信するグローバル人材を育成する大学

・まちづくりに貢献し、地域社会とともに歩む大学

また、大学全体が地域社会への貢献活動を行えるよう支援するため「社会貢献センター」を設置し、企業や行政との共同デザイン研究や商品開発、高校生を対象にした授業、市民が芸術を身近に感じられるアーツスクールなど、地域社会への貢献活動を一元的に行い、これにより芸術、文化を生かしたまちづくりの中核を担っていくとしております。地元として、大いに期待される来年四月です。

七月二十七日に開幕した、ロンドン五輪の日本選手団の主将に陸上男子やり投げの村上幸史選手、旗手には、レスリング女子55kg吉田沙保里選手が務め、総勢二九三名の選手の活躍で日本中を興奮の渦に包むでしょう。

平成二十四年度 新屋振興会

定期総会開催

平成二十四年度の新屋振興会定期総会が、去る四月十二日(木)午後六時から西部市民サービスセンターで行われました。

町内会長・評議員・振興会理事・会計監事・顧問・相談役を含め四十五名が出席し、議長に小玉隆太郎中表町町内会長を選出して議事に入りました。

総会では、事務局から、二十三年度の事業実施報告・一般会計等の収支決算報告及び会計監査、続いて二十四年度の事業計画案・一般会計・特別資金会計の収支予算案が提案され討論の結果いずれも承認されました。



また、松林再生委員
会が N P O
法人に移行
したことに
伴い、会則
から削除す
る議案が提
起されまし
たが、これ
も承認され
ました。

平成 23 年度「新屋振興会」各部事業実施報告

年 月 日	報 告 事 項	年 月 日	報 告 事 項
(総 務 部)		(広 報 部)	
23. 6. 25	総務部会開催	23. 6. 4	8/1 発行「あらや衆報」編集会議
7 月末	節電ポスター配布 (各町内 10 枚)	6. 7	原稿依頼等作業分担確認
12月	新屋振興会ホームページ完成	7. 8	編集・校正会議 (この間、数回実施)
11. 15	新年会打ち合わせ (1 回目)	7. 29	「あらや衆報」117 号刷上がり・各方面への配布、発送作業
11. 28	〃 (2 回目)	8. 1	「あらや衆報」117 号各戸へ配布
12. 20	〃 (最 終)	9. 14	1/1 発行「新屋衆報」編集会議
24. 1. 7	新屋町「新年会」開催 (西部市民サービスセンター・参加 111 名)	10. 23	編集会議、以降 2 回実施
2. 4	総務部会開催	12. 15	編集・校正会議 (この間、数回実施)
(企画開発部)		12. 28	「あらや衆報」118 号刷上がり・各方面への配布、発送作業
23. 5. 24	町内会及び各種団体に対し、要望事項提出依頼	24. 1. 1	「あらや衆報」118 号発行 (全世帯・団体等に配布)
6. 30	要望事項の集約・検討・現地調査	(松林再生委員会)	
7. 19	地元選出議員に対し、要望事項を説明	23. 4. 11	松林再生委員会役員会 (以降 4 回開催)
9. 8	第 1 回理事・評議員合同会議で、国・県・市への要望事項を説明	4. 13	松林再生委員会全体会議
10. 4	秋田市に要望書提出	6. 29	〃
10. 7	秋田県と県警察本部に要望書提出	7. 14	特定非営利活動法人「松林・あらや」(仮称) 設立総会開催
10 ~ 24. 3	秋田県・秋田市の担当部署からの回答以降に、要望事項に関する対応の説明及び調整作業	8. 1	特定非営利活動法人「松林・あらや」の申請、受理
24. 1. 8	第 3 回理事会において平成 23 年度の要望事項回答を説明	9. 7	松くい虫専門調査員 (前期・後期) 研修受講
3. 17	「新屋まちづくりを考える会」(仮称) 講演会開催	9. 27	「松林・あらや」全体会議、研修会開催
(安全対策部)		10. 5	特定非営利活動法人「松林・あらや」を県が認証
23. 4. 28	新屋地区自主防災協議会総会ならびに研修会	10. 13	特定非営利活動法人「松林・あらや」法務局に登記、受理
6. 16	三役会議・23 年度の取組みについて	※ 10. 13 以降、松林再生事業は特定非営利活動法人「松林・あらや」に移行。	
9. 1	秋田市総合防災訓練参加		
10. 12	防災訓練会場の草刈り整備実施		
10. 15	防災訓練の諸準備		
10. 16	新屋地区総合防災訓練 (西部地域運動広場・208 名参加)		
11. 20	地域安全パトロール実施		
11. 25	新屋地区除排雪懇談会開催 (38 名出席)		
24. 2. 21	「災害に備えた支え合いの地域づくり」説明会 (69 名参加) 住宅用火災報知器設置 P R ・町内会長に回覧を依頼		

一 般 会 計

(円)

		平成 23 年度決算		平成 24 年度予算	
収入の部	会 費	977,000	10 世帯減	985,000	@200 × 4,925 世帯
	繰 越 金	363,728	前年度繰越分	371,020	23 年度繰越分
	繰 入 金	11,412	平成 24 年新年会余剰金	0	
	協 賛 金	472,900	あらや衆報広告料収入等	430,000	あらや衆報広告料収入
	寄 付 金	0		0	
	雑 収 入	300,110	地域づくり交付金・預金利息	980	預金利息
支出の部	計	2,125,150		1,787,000	
	会 議 費	223,458	総会、理事会、三役部長会	240,000	総会、理事会、三役部長会議等
	事 務 費	66,968	事務用品、コピー、切手、はがき	110,000	事務用品、コピー等消耗品他
	部会活動費	44,648	各部活動費	70,000	各部活動費
	陳 情 費	0		10,000	
	広 報 費	702,804	衆報印刷費、配布謝礼等	750,000	衆報印刷代、取付費、配布謝礼
	安全対策費	46,712	自主防災関連経費等	60,000	自主防災関連経費等
	環境対策費	0		1,000	
	委員会等運営費	0		30,000	
	罹災見舞金	0		1,000	
	負 担 金	177,000	スクールコンサート、西部振興会	150,000	スクールコンサート等
	補 助 金	20,000	町内会長研修会	20,000	町内会長研修会
	繰 出 金	0		10,000	
	諸 支 出 金	117,400	日吉祭典祝い、諸団体会議等	140,000	日吉祭典祝い等
	予 備 費	415,140		186,000	
	計	1,754,130		1,787,000	

特 別 資 金 会 計

(円)

		平成 23 年度決算		平成 24 年度予算	
収入の部	前期繰り越し金	1,016,095		1,016,339	
	雑 収 入	244	預金利息	661	
	計	1,016,339		1,017,000	
支出の部	前期繰り越し金	1,016,339		1,017,000	
	繰 出 金	0		0	
	寄 付 金	0		0	
	計	1,016,339		1,017,000	

平成 24 年度新屋振興会事業計画

担当部局	日 程	事 業 内 容
事 務 局	25. 3. 31 まで	三役・事務局会議（年 4 回） 三役・各部長会議（年 2 回） 役員・理事会（年 2 回） 役員・理事・評議員会（年 2 回）
総 務 部	6 月 7 月 11 月～ 12 月 25. 1. 5	総務部会 全町ゴミ集積所清掃デー 部会（新年会開催諸準備等） 平成 25 年「新屋町新年会」開催
企画開発部	5 月中旬 6 月中旬 7 月上旬 8 月上旬 11 月上旬 24 年 4 月～ 25 年 3 月末日	町内会・各種団体へ要望事項 提出依頼 要望事項の内容集約・検討・ 現地調査実施 振興会三役へ要望事項説明 地元選出議員に要望事項説明 国・県・市へ要望書提出 要望書の回答を受けた後に、 理事・評議員合同会議におい て、要望事項に対する関係機 関からの回答を説明 その他、年に数回必要に応じ て部会を開催 ◆新規事業「新屋のまちづく り推進委員会」の設置 アンケート調査等を行い、 元気な新屋のまちづくりビジ ョンの計画資料づくりを実施 する。
安全対策部	4. 25 10. 14 11 月下旬	新屋地区自主防災協議会の総 会・研修会開催 新屋地区防災訓練開催 新屋地区道路除排雪懇談会開催 その他年度内に ・秋田市が実施する防災訓練 に積極的に参加 ・災害時に備え支え合いの地 域づくりの推進 ・火災報知器及び消火器等予 防器具の設置促進 ・地域安全パトロールへの協 力など実施する。
広 報 部	8. 1 25. 1. 1	「あらや衆報」第 119 号発行 「あらや衆報」第 120 号発行

平成 24 年度新屋町内会長・評議員

No.	町 内 名	町内会長評議員	評 議 員	No.	町 内 名	町内会長評議員	評 議 員
1	上 表 町	高 橋 伸	三 浦 陽 美	13	大 川 町	狩 野 紀 男	
2	中 表 町	小 玉 隆太郎		14	十 條 団 地	富 田 漣	高 橋 勝
3	比 内 町	金 澤 國太郎		15	沖 田 町	岡 田 徳 美	小 野 均
4	愛 宕 町	小 野 良 治	横 山 誠 治	16	南 団 地	大 倉 孝 作	
5	市 営 住 宅	藤 田 友 好		17	田 尻 沢	長谷川 清 俊	
6	関 町	高 橋 大 和		18	高 美 町	今 野 周次郎	
7	関 町 後	阿 部 民 樹		19	下 表 町	海 風 敏 夫	大 塚 誠 智
8	県 営 住 宅	富 永 清	堀 田 武 志	20	駅 前 町	高 橋 昭 一	
9	北 新 町	川 田 直 政	菅 原 勇	21	はまなす町	小 野 広	
10	南 新 町	南 波 郁 夫		22	日 の 出 町	安 田 正	
11	緑 町	小 島 初 男	田 中 竹 道	23	改 良 住 宅	外 山 要二郎	
12	笹 町	渡 辺 憲 一	佐々木 忠 善				

〈特 集〉

秋田公立美術大学の
誕生までの歩みと期待を

新屋振興会 相談役

高 橋 昌 一

あと二ヶ月経ちますと、秋田公立美術大学（四年制）設置が文部科学省から認可される予定であります。

思い起こせば、昭和時代の末期から平成時代の始めに西部地区に高等教育機関創学の気運が醸成さ

れ、平成二年十月一日に「美術工芸短期大学準備事務局」が設置さ

れ、その緒についてから早や二十二年の歳月が過ぎ去りました。そ

の間、平成十七年九月二十七日に

は開学十周年記念式典が行われ、

地域と共生する短大の輝かしい十年の歩みをお祝いしました。それから八年、開業二十周年を待たず

に、東北唯一の美術系の四年制大学（秋田公立美術大学）が平成二十五年四月に開学することとなります。秋田市民はもとより、特に

新屋を中心とする西部地域住民の喜びは一入であります。

顧みますと、先述の平成二年の「準備事務局」設置二年後の平成

四年二月二十六日に「秋田公立美術工芸短期大学（仮称）創設委員会」を設置し、実質的な運動を展

開しました。秋田周辺広域市町村

圏協議会、秋田商工会議所、市選出県議会議員等各種関係機関に対

し説明、協力要請、陳情を行いました。

又平成四年八月二十八日に新屋地区促進期成会が編成され、九月十日から署名運動を行い十一月二十日には八千七百五十九名の署名をもって市に陳情を行いました。

又全市運動として平成五年三月中旬から五月末まで署名運動を展開し、十一万七千余名の市民から署名をいただき、同年六月二十八日秋田市に署名簿を添えて陳情を行いました。その後平成五年から平成六年の一年有余の間に秋田市議



お祝いの横断幕（平成7年）

会での協議から承認や、自治省・文部省等に説明・協議・承認・認可などの開学に係わる準備作業、又並行して用地の取得、造成、校舎の基本設計、実施設計着工とスケジュールに従いそれぞれの分野で作業が進められ、平成七年四月十一日開学記念式典、続いて四月十四日に第一期生の入学式が挙行されました。それから十年を歩み続けられた平成十七年九月、開学十周年記念誌「竹に学びて立つ」で二代目の石川好学長が「開学十周年から本学の未来を見て」と題しての挨拶の中で「この節目の年にこの大学を、たとえば四年制に転換するとか、または短大のまま、ある技芸に特化した職人大学にするとか、いずれにしてもどのような形の大学にするのか、その議論を秋田の設置者、教職員、地域の人々が真剣になつてもらいたいと思う。」と世に問う挨拶を述べられました。その後地域住民有志で

平成十八年八月二十七日に字数の多いネーミングとなりましたが「秋田公立美術工芸短期大学四年制大学昇格西部地区期成同盟会（会長高橋昌一）」を結成し、地域住民一万六千七十人の署名を集め、同年十月二十四日秋田市長に要望書に署名簿を添え手渡しました。

一方短大に於ても平成十九年四月、学内に「大学制度調査会」を設け、直面しているさまざまな問題を把握し、それらに対する戦略的解決方法を探ることとしました。

三代目の樋田豊次郎学長は就任直後から短期大学の将来について深く憂慮され『いますぐ潰れるほど危険な状態にあるわけではない。しかしいまのうちに対策を講じておかなければ将来が無い。いわば「遠くに赤信号が見えている。」秋田公立美術短期大学の現状をひとこと言え、こういう表現になるだろう。』と述べられました。

「四大化」への気運が次第に高



除幕式

まりつつある一方で、平成二十一年四月十二日に秋田市長選挙が執行され、穂積志氏が十八代目の秋田市長に就任されました。彼の選挙公約の重点項目の一つが「美短を四年制大学にします。新屋ももさだの秋田公立美術工芸短期大学を四年制大学に昇格させます。」でありました。市長就任後に直ちにこの問題に取り組み、銭谷眞美氏（東京国立博物館館長・元文部科学事務次官）を委員長に十名で

「四年制大学化検討有識者委員会」を設置し「四大化」の必要性の基本構想を提言したところでありました。

このような経過が実を結び、本年十月下旬にも文部科学省から認可される見通しで、来春、平成二十五年四月には「秋田公立美術大学」が開学を予定されるところであります。

最後になりますが、短大の誘置・四年制大学の昇格に、その都度係わった地域住民の代表として、設置の意義・設置の必要性を地域住民や市民・県民に周知する責務のあることを認識するとともに、開学後には熱い思いでその成長を見守り、協力を続けて参りたいと考えております。

開学間近の秋田公立美術大学が秋田の文化水準を高める大きな力となることを期待しつつ擲筆します。

地域の皆様と共に...

ISO9001・14001 認証取得



日本大昭和板紙株式会社秋田工場

取締役工場長 金子 豊

〒010-1601 秋田市向浜二丁目1番1号
TEL(018)896-7700 FAX(018)896-7690

地域共栄

地域の皆さまのお役に立つ銀行として、
よりよいサービスの提供を目指してまいります。

秋田銀行
新屋支店 TEL018-828-2233

新屋の教育現場から

佐藤聡子さん、あるいは新美術大学のこと



秋田公立美術工芸短期大学

学長 樋田 豊次郎

今回は、新屋で生まれ育った佐藤聡子さんのことを書きます。佐藤さんの生きていく姿が、来年四年制大学として開学する秋田公立美術大学の将来像と重なるからです。

佐藤さんは四才からヴァイオリンをはじめ、現在は演奏家として活躍しています。その腕前は、六月一日にイヤタカのヴァレリアーノで聞かせていただきましたが、「いや、凄かった!」。細身のすらっとした体型から、どうすればあんなに迫力のある音色が出てくるのかと思うくらい、エネルギーがすごかったです。

でもそれにもまして私が凄いと思ったのは、佐藤さんの経歴です。公演プログラムによれば、東北大学文学部哲学科で美学美術史を学び、大学院在学中に演奏活動をスタートさせたとのことですが、その後も、ラジオパーソナリティやリポーターを体験したり、美術の研究会に参加したり、能登島ガラス工房で修業したりと、演奏家によくある音楽一筋

とはひと味違う道のりでした。

こういう挫折とは違うけれども、その少し前の試行錯誤を経たうえで自分を造形していく生き方を、新美術大学に来る学生さんたちにも選択して欲しいのです。だって、二一、二才で自分の生涯にわたる芸術上の専門なんて、見定められるわけがないでしょう。なんにでも首を突っ込んでみて欲しい。本気で首を突っ込めば、その体験は後できっと実になるでしょう。だから新美術大学では、促成栽培よりも、卒業してから十年後、二十年後に、その人が社会を振り向かせることができるような成功者になれる教育をしたいと考えているのです。卒業生の就職率が気にならないと言えは嘘になりますが、。

佐藤さんの演奏スタイルが挑戦的で力強いのは、今日に至るまでの経験が物を言っているからだと思います。佐藤さんのみなぎるパワーは、これから音楽上の試みへと自身を駆り立て続けることでしょう。もし

かしたら、また一時的に他分野に首を突っ込むかもしれません。なぜ、そんなことが分かるのかって? 私も

秋田県立新屋高等学校に赴任して



秋田県立新屋高等学校

校長 高安 暢

新屋振興会の皆様、初めまして。この度の教職員の定期異動により、秋田県立農業科学館より参りました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

日頃、本校地元の皆様方から格別な御高配を頂戴いたしており、厚くお礼申し上げます。

本校は「地元の学校」となるべく、積極的に新屋地区を中心として各種行事やボランティア活動などに力を入れてきました。今年度も、昨年度以上に地元の皆様方との交流を深めて参りたいと思います。

先日は、学校のすぐ下の田んぼで二年生の一クラスが田植えの体験をさせていただきました。また、五月には日吉神社さんの山王祭で、生徒会の生徒達が御神輿を担がせていただきました。この他、地元の歴史や文化に触れること、及び様々な年代の方々との交流などを通して、生徒に対する幅広い教育効果が得られる

まだ、この年になっても自分の専門を固定できていないからです。

のではないかと考えております。御理解と御協力をお願いします。

さて、先の実験の結果により、サッカー部と女子バドミントンの個人が、この夏のインターハイ(北信越かがやき総体)に出場することになりました。「新屋」の名前を全国に知らしめる大きなチャンスでもありますので、地元の皆様方よりの御声援を頂ければ幸いです。

地元からのより一層の信頼を得るには、登下校時の通学マナーや挨拶の仕方を初めとして、進路実績など、様々な観点での成果が必要と思われます。この実現のために、是非とも地元の皆様方よりの素直な御要望や御意見・御提言などを頂戴できれば幸いに存じます。ともにはぐくむ「共育」ができればと思います。

以上お願いを申し上げます。赴任の挨拶とさせていただきます。

「礼儀・礼節を重んじる指導」に

力を入れています



秋田市立秋田西中学校

校長 石 槌 英 一

地域の皆様には、日頃たいへんお世話になっております。今年度も、地域のご指導、ご支援を賜りながら、西中教育に職員一丸となって、全力で取り組む所存です。

さて、昨年度、「誇りと自信をもたせる指導」に力を入れてまいりましたところ、子どもたちの学習や生活、部活動など、様々な面で大きな成長が見られました。そこで、この

たび、学校教育目標の中に「誇り」と「自信」を入れ込み、『誇り高き若鷲よ 自らを信じて はばたけ！』としました。生徒昇降口の看板もリニューアルしたところです。

さらに、今年度は、「礼儀・礼節を重んじる指導」に力を入れることにより、社会に通用する生きる力や目標に向かってひたむきにがんばる力、よりよい人間関係を築く力などを大きく育てたいと考えております。

そこで、その指導の一環として、「立腰（りつよう）」と「部活集合」という新しい取り組みを行っています。立腰とは、背筋をピンと伸ばして、

腰骨をシャンと立てる姿勢のことで、やる気や根気を培い、何事にも強い意志をもって主体的に取り組む生徒を育てることを目指すものです。授業の開始・終了時などに、適宜「黙想」と組み合わせ、静かに心を整えるために実施しています。

また、部活集合とは、部活動開始前に行う十分程度の合同集会で、「若鷲の礼節」に関して、あいさつ・声出しを行い、礼儀・礼節の努力事項を確認したあと、ミーティングを行ってから部活動に入るようにしています。

「声出し」の中には、「地域の人に気持ちのよいあいさつをします」「困っている人を助けます」「決心したことは必ずやり抜きます」なども含まれており、自分で大切だと思ったことは実践するように指導しています。

おかげさまで、礼儀正しい行動を自ら進んで行う子どもが増えておりますので、地域の皆様の激励をいただければ幸いに存じます。

日新小学校に赴任して



秋田市立日新小学校

校長 鎌 田 寿 和

日新小学校にきて、一番最初に感じたことは、古いものがたくさん残されていることです。例えば、職員玄関には、創立五十周年記念の年につくられた学校の表札がかかっています。プレーホールの二宮金次郎画像もそうです。どちらも、大正十四年といえますから、約九十年前になります。森川源三郎や栗田定之丞の肖像もあります。

来校者の目の届かない職員室の正面には、「啐啄同機」（そつたくどうき）と書かれた額が、簡単には読めない難しい書体で書かれています。これは、昭和十一年の作だそうです。この言葉の意味をいろいろと調べてみました。次のような意味です。

「啐」（そつ）は卵が孵化（ふか）しようとして内からひなが殻をつつくこと、「啄」（たく）は母鶏がそれに応じて外から殻をつつくことです。両者のタイミングが合わないとは雛は

かえらないのです。外からつづく「啄」が遅ければひなは窒息し、逆に早すぎると内はまだ卵状だから死んでしまうのです。「啐啄同時」（調べてみるとこの言葉もありました）の呼吸があわないといけないのです。

このことを、学ぶ学人と教える師家との阿吽（あうん）の呼吸が合致しないと、学は成就しないということにたとえたのがこの言葉です。生物学的に正しいのかどうかはわかりませんが、このたとえはすごいと思います。

五月から六月にかけて、日吉山王祭に招待していただいたり、鹿嶋祭りを見たりする機会がありましたが、日新小学校は、古くからの行事を大切にしようとする町の人々と、先人たちの努力によって築かれたふるさと新屋の歴史の中で呼吸していると感じています。

新任あいさつ

「新屋地区の連帯感」



西部市民サービスセンター

所長 石谷 雄一

今年四月の異動で西部市民サービスセンター所長になりました石谷です。よろしくお願いいたします。

西部市民サービスセンターに勤務して以来、様々な会合や行事に出席して、新屋地区の皆様の連帯感の強さを感じています。

新屋には、海と川と丘の豊かな自然があり、余楽庵や参画屋などの歴史的建造物があります。中でも特筆すべきは国の登録有形文化財が数多くあることです。登録有形文化財は、主に歴史的に貴重な建物を対象とした文化財の保存制度です。今も活躍している貴重な文化遺産、それが登録有形文化財であり、新屋には美術工芸短期大学の実習棟・國萬歳酒造さんの主屋・森九商店さんの主屋・ひろ建築工房さんの事務所等々、実に秋田市内にある三十二のうち十九の登録有形文化財があります。

そして、さくら公園観桜会、日吉神社山王祭、栗田神社祭、雄物川花火大会、大川散歩道雪まつりなどと

いった、四季の移り変わりにあわせて祭りがあります。

豊かな自然と文化遺産が息づくまちで、様々な伝統行事が新屋振興会をはじめ各種団体の多くの関係者によって活発に行われています。このような活動が、熱い郷土愛と新屋魂をはぐくみ連帯感の強さに結びついていると実感しました。

これから新屋地区の皆様が連帯感が、豊かな資源を有効に活用し個性豊かで活力に富んだ地域づくりのため、脈々と受け継がれていくことを願っています。

私共職員も、開設から四年目を迎えた西部市民サービスセンター・ウェスターが地域の皆様の交流の場として、地域活性化を図る拠点として、一層、親しみを持ってご利用いただけるよう施設運営に努めてまいります。

第25回 秋田市夏まつり
雄物川花火大会開催

◎日 時

8 月 10 日(金) 午後 7 時 30 分より午後 9 時迄
(雨天等の場合翌 11 日)

◎場 所

雄物川河川敷

◎大会の見所

○第一部

秋田西中生徒のデザイン花火

「プレゼントー私達の元気、みなさんにどうぞー」

○第二部

日本煙火芸術協会有志の「ザ・プレミアム花火」

(花火鑑賞士による解説付き)

○第三部

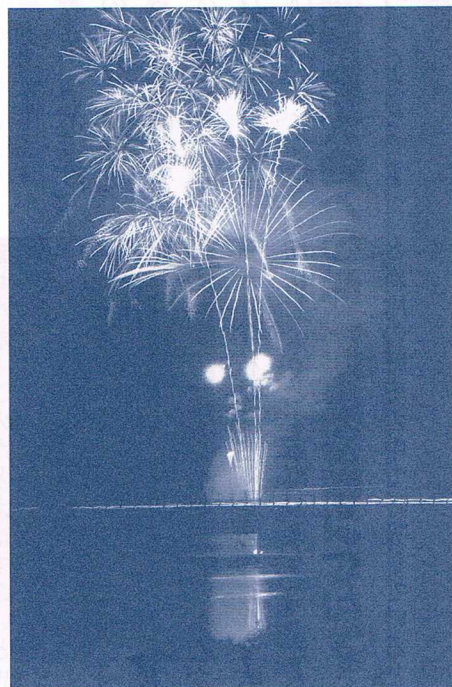
「あきた発！みちのく東北の彩りツアー」

○第四部

クライマックス番組

「きらめく瞬間(とき) 日本・東北・秋田」

※以上四部構成で、小型仕掛け・5号・8号の連発・超デラックススターメインなどが、夏の夜空に輝きます。



みんなで考えよう！元氣な新屋のまちづくり

新屋振興会・新屋まちづくり推進委員会

富田 連

昭和十六年、新屋町は秋田市に併合し、同二十九年に総合都市計画により新屋の計画市街化区域の色分けが決まった。同四十三年、住民の要望により、土地利用、街路、公園緑化、宅地開発、下水道整備などを柱とした新屋総合開発計画を発表し、同六十年完了を目指した。同六十二年、住民アンケートの結果を基に美しいまちづくり調査報告書をまとめ、地区住民による「まちづくり事業推進協議会」が設置され、新屋三新計画の実現を目指し、平成四年に基本構想が策定された。平成二十年「新屋表町通り活性化推進委員会」が設立され、新屋表町通り景観まちづくりガイドラインを策定。重要な景観資源である「湧水」を活かした景観形成などが提案された。……このように、新屋地区はそれぞれの時代に、地区活性化を試み、今に至っています。

現在、かつて新屋の生活を支えてきた商店街の低迷や少子高齢化が進んできている反面、西部工業団地の開発、東西に広がり続けている住宅地、そして来春には秋田公立美術工芸短期大学から四年制大学の開学を

控えているなど、新しい動きもあります。今、新屋地区住民が一体となつて新屋の未来を考えていかなければいけない転機と考え、新屋振興会では昨年度から、住民の夢と希望を次世代へつないでいくための元氣な「新屋のまちづくり」をテーマに動き出しました。その第一歩として平成二十四年三月開催の「市民参加のまちづくり」講演会で、地区住民の皆さんに「まちづくり」について考えていただく機会をつくりました。

今年度は新屋振興会の全体の取り組みとし、六月上旬「新屋まちづくり推進委員会」を立ち上げ、講演会で皆さんにお願いをしていた、地区住民アンケート調査資料作成に取り組み、すでに各町内会を通して年代男女別アンケート資料（人選は各町内会で選任）をお届けしておると思っています。忌憚のないご意見ご要望、ご協力をお願いいたします。その結果を分析し、今後の進め方を考えていく予定です。随時、経過などを報告しながら、地区住民の皆さんと元氣な「新屋のまちづくり」を考えていきたいと思っておりますので、ご協力をお願い申し上げます。

天災は忘れた頃にやってくる

わが家の安全をチェックしよう！

新屋振興会 安全対策部

◎地震が起きたら、あなたの住宅は大丈夫ですか？

秋田市には、木造住宅の耐震診断・耐震改修計画・耐震改修に対する補助制度があります。

〈対象〉

- ・秋田市内にある木造戸建住宅
- ・昭和五十六年五月三十一日以前に建築
- ・所有者が税金の滞納をしていない

お問い合わせ先

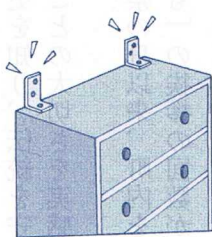
秋田市役所 建築指導課

(Tel) 八六六―二二五三

◎家具の安全な配置と転倒防止

地震が起きると、倒れた家具や落ちてきた

物でけがをすることも考えられます。また倒れた家具は、



外へ逃げる時の障害にもなります。こうした被害は、家具を固定したり、家具の上に物を置かないなど、ちよつとした工夫で防げます。

◎住宅用火災警報器を

設置しましょう

住宅用火災警報器が煙や熱を感じて、警報音や音声で火災発生をお知らせします。

※消防法により設置が義務づけられています。



快適生活
製造業

太陽光発電
家庭用燃料電池
LPガス・薪ペレットストーブ
ECOボイラー



株式会社 オノプロックス

〒010-1637 秋田市新屋扇町7-41
TEL 018-828-2108 FAX 018-828-2177
E-mail onoprox@coral.broba.cc

新屋の伝統行事

日吉山王祭の思い

日吉山王祭・統前町 (南団地町内会)

実行委員長 嘉 藤 孝 夫

南団地町内会が初めて日吉山王祭

の統前町を務めることになり、昨年の年も押し迫ったところに実行員会を立ち上げ、私も委員の一人として手伝うことにしたんですが、突然役員の中にアクシデントがあり私が実行委員長を務めることになりました。まさに青天の霹靂でした。

実行委員会のメンバーは他の土地からの転入者でいわゆる「新屋衆」と称する人は殆どいません。新屋の祭は聞いたことがあってもそれが日吉山王祭と理解する人は何人も居ない状態でした。私自身、統前町と言う意味さえ分かりませんでした。

日吉山王祭とはどういう祭りなのか、統前町とはどんな仕事をするのかを理解するための勉強から始まりました。

日吉神社の宮司さん、神社役員のかたの指導、そして昨年の統前町である関町後町内会の協力を得ながら祭の準備は始まりました。

実行委員会のモットーは「手作りの祭で町内会の皆が参加して祭を盛り

り上げよう」です。

先ず取り組んだのが町内会の協力者を募ることです。

設備の造営、警備、接待要員で協力者は総勢百名以上は必要と思われました。

協力依頼の回覧を廻し、声掛けなどをしたところ百三〇名余の応募がありこれで統前町としての任務を果たせると思いました。

雨の中での竹矢来の組立て、五月の日差しの下での余興舞台の制作、接待の準備から実行、祭の巡幸の警備と、町内会の皆が日吉山王祭の伝統を守るために必死に取り組んでいる姿には感動しました。

祭の最後を飾る余興舞台では演技者にアンコールの声がかかるほど盛況で祭は大成功でした。

伝統と格式を守る神社の宮司さんと神職の方々、それを支える氏子総代、神社役員の方々、そして祭を実行する統前町、そして新屋町の全町内会の協力があった日吉山王祭が今に続いていることを知りました。

私自身も、歴史を知り、伝統を守り継承していくことの大切さを実感した祭でした。

そして何故か祭の日以来、町内を歩いては「どうも」の挨拶の回数が増えました。



▲南団地町内へ向かう神輿と新興連



▲実行委員会のみなさん

平成二十四年度

功 勞 表 彰 者

次の方々が表彰されました

おめでとうございます

(敬称略)

◎瑞宝単光章

矯正業務功勞

石 黒 比佐司 (比内町)

◎秋田市民生・児童委員

協議会会長表彰

佐々木 直 子 (北新町)

藤 原 久美子 (中表町)

秋 田 市 表 彰

●青少年育成

若 杉 憲 一

●児童育成クラブ世話人

渡 邊 久 子

次世代への継承を

鹿嶋祭当番町 事務局 大塚 正一

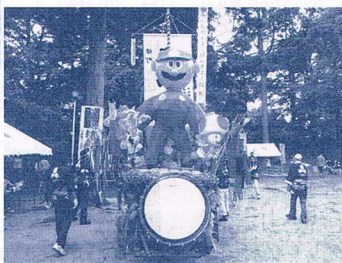
約二十年ぶりの鹿嶋祭当番町、町内の鹿嶋祭には毎年参加しており、したが、いざ当番町となつて何をどのように行ったら良いか正直悩みました。二月に前年度当番町笹町さんから引継を受け準備をしてきました。が、関係各所への案内、協力員の確保等当日まで悪戦苦闘でした。更に今年からは神社境内の横に道路が出来、入船経路が変更されることになりました。が、通路の勾配があまりにも急なため、危険ではないか等多くの方から危惧するご意見もあり当日実施するまで不安でしたが、結果は栗田養護学校さんをはじめ参加二十町内、ご協力をいただいた関係者の皆様のお陰を持ちまして無事終了することができましたことを深く感謝いたします。

さて、新屋の鹿嶋祭は鹿嶋流とも呼ばれ、古くは「さなぶり（田植えがすんだお祝い）」の頃、後に旧暦五月五日の端午の節句に行われてきました。現在は初夏を迎える風物詩として、地域の子どもの楽しい祭行事となつております。家内安全・無病息災・五穀豊穡と武勇の神様・鹿嶋神に子どもの成長を祈るお祭り、約四百年来の伝統行事とされています。今回当番町になり、一番苦労したのは協力者集めでした。緑町町内会を見ますと、所帯数も増え、子どもさんの人数も増えてはおりますが、鹿嶋祭の由来を知らない方が多く協力者が少ないのが現状でしたが、

とか婦人の方からの協力も得てどうにか当番を全うすることが出来ました。今回当番町のセレモニーとして過去三十数年からの写真を境内に展示させていただきましたが、三十年前子どもで参加した方が、今年は自分の子どもを連れて参加している光景を目にし非常に感激をし、親子へ引き継がれていることの大切さを新たに感じたところです。少しでも多くの方に、鹿嶋祭の由来を知っていただき、鹿嶋祭の日には町内いたるところで太鼓の音にあわせ「シヨッ シヨッ シヨッ 鹿嶋のおぐりシヨッ」と歌声とともに鹿嶋船が新屋の町を練り歩く姿にするために若い次世代への継承を更に行っていかなければならないと感じました。



緑町「鹿嶋祭の歩み」パネル展の様と鹿嶋舟



「新屋鹿嶋祭保存会」の初年度の取り組み

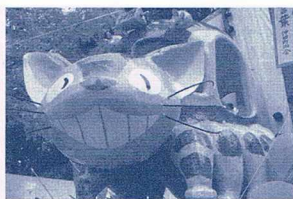
新屋鹿嶋祭保存会 総務 藤枝 隆博

「新屋鹿嶋祭保存会」(会員五十四名)が発足してから、はじめての鹿嶋祭を迎えました。保存会では、参加町内会(栗田養護学校含む)に対して、アンケート調査をお願いしました。内容は、①鹿嶋船、鹿嶋人形などの製作期間、②搭載物(キャラクター人形)のテーマ、メッセージなどの紹介、③鹿嶋船の製作にあたり工夫や苦労されているところ、④鹿嶋祭当日参加された大人、子供などの人数、⑤「鹿嶋人形流し」の実態調査、⑥「新屋鹿嶋祭保存会」への意見要望など。さらに、①鹿嶋船の全景写真(前、横、後姿)、②鹿嶋船の製作過程の写真提出を要請してきました。

私の手元には調査アンケートの回答、鹿嶋船の写真が續々と寄せられております。鹿嶋船を見比べてみると荷車、舳先、ガジキ、帆柱、御宮、短冊の飾りつけなどそれぞれに特徴があります。また、鹿嶋人形の表情には凛とした勇ましさと愛嬌が感じられ、作り手の思いが乗り移っているようです。また、搭載物のキャラクターは時代と世相を反映したメッセージ性とこだわりが見て取れます。これら提出された資料、写真などは、今後の保存会活動の貴重な財産



ガジキの舳先に各船の特徴がある



力作のキャラクター搭載物



雄物川へ鹿嶋流し
(その後、鹿嶋船は回収しています。)

として生かしていくと同時に、「講演会」「写真展」など開催し各町内会の力作である鹿嶋船を改めてご覧になりながら鹿嶋祭を「語り合う交流の場」を設けてまいります。今年の鹿嶋祭にご尽力された各町内会の皆さんや日吉神社、保存会会員の皆様に紙面をお借りして敬意と感謝を申し上げながら、新屋鹿嶋祭保存会の活動の報告とします。平成二十四年七月一日

トピックス

新屋地区スクールコンサートについて

秋田地区交通安全協会新屋支部 進 藤 正 子

新屋地区
スクールコ
ンサートの
始まりは、

昭和六十一年頃から平成十四年頃まで春の全国交通安全運動の時に
行ってきた
行事のひと
つで、日新



観客席も満杯の盛況

小学校の協賛のもと吹奏楽部の演奏と新一年生がミニ警察官に扮し交通安全メッセージを携え、新屋支所から大川町のだいせんまでパレードを行っておりました。施設の方々へ音楽を届ける毎年の恒例行事となりましたが、数年にわたり雨天による中止を余儀なくされました。このため、支部役員で話し合いのうえ、新屋を音楽の街として楽しい街にしたいとの思いから西中学校や新屋高校の吹奏楽部にも協力をお願いし、立ち上げたのが新屋地区スクールコンサートでした。各校の協力のもと今年度で九回目を数えることが出来ました。



生徒達の熱演

今年度は天候にも恵まれ、およそ八百人の方々に足を運んでいただき、大きなイベントに成長させることが出来ました。

会場の美術工芸短期大学をはじめ、新屋地区の皆様、新屋振興会、協賛団体の協力にこの場をかりて感謝申し上げます。

秋田地区交通安全協会新屋支部は今後も事故のない明るい町づくりのための活動が続けていきたいと思えます。今後もしよろしく願っています。

全県中学校野球新屋大会への新優勝旗寄贈について

秋田西中学校野球後援会

五月二十六日、二十七日の両日にわたって、全県中学校野球新屋大会が開催され、各地区の代表校が持てる力と技を十分に発揮し、全県大会の名にふさわしい好試合を展開しました。大会の開催にあたり、地域の皆様からは、物心両面にわたってご支援ご協力を賜り、衷心より感謝申し上げます。

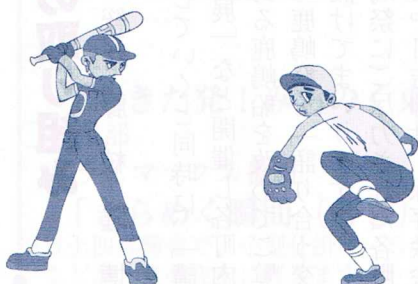
さて、歴史と伝統に輝く本大会は、本年をもつて六十二回を迎えました。昨年は、秋田西中が二十四年ぶり四度目の優勝を果たしたところですが、この優勝を機に、このたび、新優勝旗を寄贈することといたしました。

今回の開会式においては、新しい深紅の大優勝旗を赤坂光一秋田西中学校野球後援会副会長より、本大会の主催者である佐々木時夫秋田中学校体育連盟会長に贈呈いたしました。

三十七年ぶりに更新されたこの真新しい優勝旗により、本大会が歴史と伝統の輝きを増して、ますます発展していくことを祈念してやみません。



深紅の新優勝旗



平成二十四年度新屋地区 社会福祉大会開催される

七月七日、西部市民サービスセンターにおいて「新屋地区社会福祉大会」が開催されました。新屋地区の福祉の増進と地域を活性化し、住みよい新屋となるための情報提供、楽しい交流の場となることを願い企画したものです。

「社会福祉大会」開催にあたり、日頃、在宅介護で頑張っておられる方々へ表彰状を差し上げました。

引き続き新屋地区社会福祉協議会小島会長あいさつ、招待者を代表し秋田市社会福祉協議会野口良孝会長よりお祝いの言葉をいただきました。社会福祉大会の内容は、講演 寺田内科医院院長 寺田俊夫先生の「ピンピンころり」長寿の喜び、そ



表彰式



して星あきらの楽しい「マジックショー」：百十名余りの参加頂きました。皆さんにとって、寺田先生のお話を通して長寿の喜びを得るため、日常における心がけを学んで頂いたものと思います。一方マジックショーではマジシャンの動きに真剣な眼差を注ぎつつも、心が癒されたものと思います。来年も是非参加をとの声を多くいただきました。

ハマボウフウを知っていますか

新屋ハマボウフウの会 会長 赤坂 光一

ハマボウフウはセリ科の海岸植物です。ほぼ全国に分布し、夏に白い花を咲かせます。昔からその根は山菜として食されたり、薬草として利用されたり、臭いの強さから防虫などに活用されたようです。近年は海岸の荒廃や乱獲などにより個体数が減り、地域によっては絶滅危惧種に指定されているほどです。

このような現状の中で、私達是新屋付近の海岸においてハマボウフウの保護・育成などを通して、「地域の財産として位置付け」又「郷土愛を育む意識」等を共有できる仲間との活動を目指して、昨年、新屋ハマボウフウの会を結成いたしました。

今後の会の活動は、ももさだ海岸や元中村海岸にある植栽地においてハマボウフウの育成を中心に行いますが、会の趣旨に賛同し一緒に活動していただける仲間（会員）を募集いたします。

是非、一緒にハマボウフウを育ててみませんか。



▲ ももさだ海岸のハマボウフウの花

明日の空気を変えていく



土木工事一式・環境整備事業
豊興産株式会社

代表取締役 石 黒 望
〒010-1637 秋田市新屋扇町12番49号
☎ 828-4611(代) FAX 828-3373



車のことなら なんでも

有限会社

石和田自動車

秋田市新屋大川町19-81

☎ 0120-28-3037

三浦歯科医院

三 浦 捷 也

秋田市新屋元町 22 の 34

☎ 828-2109

堀部歯科医院

歯科、矯正歯科、小児歯科



堀 部 真知子

秋田市新屋表町11番3号

☎ 828-4323

小児歯科・一般歯科

くまがい日吉歯科医院

小児歯科学会認定専門医

院長 熊 谷 仁 志

秋田市新屋町字関町後205-1(県住通り)

TEL 828-5582

内 科 ・ 外 科

一 戸 医 院

月曜から金曜 午前 9:00~午後 6:30

土 曜 午前 9:00~正午まで

☎ 828-2221

秋田市新屋大川町 9 番 7 号

美術工芸短大入口・バス停前

**2歳の春から
新屋幼稚園へ**家庭的な雰囲気で
お子様をお預かりします。**新屋扇町 4-27****TEL 828-2119****編集後記**

☆五輪旗の下、四年に一度開催されるオリ
ンピックで活躍する日本選手に感動と勇気
を貰い「がんばれ日本」：三・一の震災
に遭遇し、復興がままならない中、復興で
頑張っている皆さんから、私たちは「絆」
の大切さを学びました。
ご多忙にもかかわらず新屋振興会顧問高
橋昌一氏より玉稿を頂き、平成二十五年四
月開学予定の「秋田公立美術大学」への期
待を「特集」として掲載しました。合わせ
て各位よりのご寄稿に感謝申し上げます。
暑い折、お体をご自愛下さい。(森本記)

— 創業81年 —

植林から製材・木造建築・土地開発までの一貫生産
山林部・製材建材部・建設部・不動産部**高 高 木 材 業**

☎ 828-4310 FAX 828-4317

秋田市新屋大川町20-3 (西中グラウンド隣り)

— 痛みが和らぐ温まりの湯・皮膚によく効く美肌の湯 —
総ヒバ造りの純木造大型建築**福祉健康新屋温泉**

☎ 888-8800 FAX 888-8700

○営業時間 開館午前10時~閉館午後9時
○定休日 月曜日(祝日の場合は翌日火曜日休み)

電気設備工事・設計施工

**株式会社加島電気工事**

代表取締役社長 加 島 和 男

秋田市新屋元町 5-4 TEL 018(828)3118(代表)
FAX 018(828)1539

“旧新屋タクシー合併により”

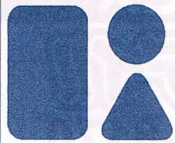
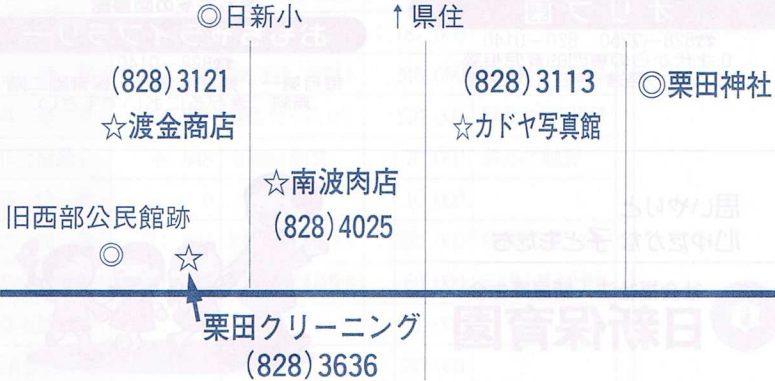
高 尾 ハ イ ヤ ー (株)配車専用 **839-2231**

ジャンボタクシーもどうぞ

— 買物は新屋地区の商店街から —

暮らしの応援団！地元の専門店が一番

《肉の南波・文具は渡金
写真はカドヤ・クリーニングの栗田》



木村内科クリニック
木村 衛

秋田市新屋田尻沢東町10-5号 新屋高校バス停前
TEL 018-828-1112 FAX 828-1114

秋田名物しょつつる醸造元

佐藤佐七商店

秋田市新屋表町4-28
☎828-2236

しっかり、きっちり、安心技術。



ワタケン

耐震・バリアフリー・エコリフォーム、太陽光発電

ワタケン秋田 検索 0120-766-081

水と緑に囲まれた
芸術キャンパスのある街

新屋商店会

会長 齋藤 一郎

和洋菓子の渡勇菓子舗

新屋元町15-5

☎828-4103

醤油・味噌・しょつつる



(有)仙葉善治商店

秋田市新屋元町14-10 ☎828-2102



有限 榎食品

きりたんぼセト

秋田市新屋元町9-3

だまこもち

TEL 018-828-3823

FAX 018-828-3824

日替弁当・大小宴会(30名様迄)承ります。

楽亭 すずらん

新屋元町桜並木通り ☎828-3233

いい暮らし届けたい

nices

ナイス新屋店

☎018 (828) 6911

富野精肉店

秋田市新屋表町 6 の15

☎ 828-4118

森永牛乳新屋販売店

大 山 淳

新屋高美町 6-8 ☎828-5503

FAX828-5226



慶弔花籠・会場装飾・いけ花素材

Flower Communication

石井生花屋

〒010-1631 秋田市新屋元町22-44

TEL 018-828-4428

FAX 018-828-4267

石井生花店インターネットショッピング

URL: <http://www.ishiihanaya-akita.jp>E-mail: shop@ishiihanaya-akita.jp

“0才から学童までの総合施設”
私たちは、皆さまの子育を応援しています。

秋田市新屋表町 8-19
及び 8-5

乳幼児保育 対象児 0才～3才

グリーンローズ保育園

☎828-3049

朝 7 時から夕方 7 時
健康に配慮した手厚い保育

子育てやことば・きこえの相談

「ことば」の教室

オリブ園

☎828-7750 828-0140

0才代からの専門的育児相談
ことばの発達・きこえの支援

共に育つ 対象児 3才～5才

ルーテル愛児幼稚園

☎828-3038

キリストの慈しみと個性を育てる教育
夕方 7 時までの長時間保育
夏休み・冬休みの預り保育

学童保育るーてる

おもちゃの図書館

おもちゃライブラリー

☎828-0140

毎月第一・第三水曜日 保育園二階
無料 きがるにおいで下さい

電気設備工事・設計施工

猿田電機工業所

代表取締役 小野 一夫

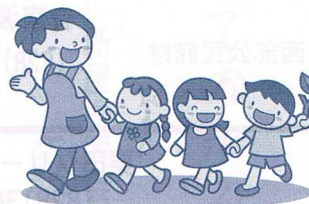
秋田市新屋元町11番11号

TEL 828-4037 FAX 828-1855

思いやりと
心ゆたかな子どもたち

社会福祉法人新屋厚生会

日新保育園



有限会社



秋田魁新報新屋専売所

秋田市新屋元町13の29

電話(828)4102

フリーダイヤル0120-60-4102

森川内科・呼吸器科クリニック

秋田市新屋表町 3 番18号

電話 018-888-8363

デイサービス

アチャコデイ!!

☎018-828-8170

まめであらハウス!!

☎018-828-8189

居宅介護支援事業所

☎018-888-8177

秋田市新屋扇町7-34

明かるいまちなみを
演出する

新屋街路灯組合

青果と食料品

高橋商店

新屋表町11の35 ☎ 828-3124

電気設備工事・設計施工

有限会社

打矢電気工業

代表取締役 打矢 道雄

秋田市新屋表町 11-23

TEL 828-2923 FAX 828-2920

TEL 828-4310

FAX 828-4317

新屋の酒

秋田晴

☎ 828-1311

庭づくりにお手伝い致します。
庭園・土木・設計・施工・管理

小野造園土木

新屋扇町 92-74

☎ 828-4265 代表 小野 由春

贈答品・記念品のことなら何でもお気軽に!



シャディサラダ館新屋店

〒010-1638 秋田市新屋表町12-50

電話 828-1691 fax 828-7983

お電話一本でギフトカタログ無料進呈致します

酒・たばこ・各種食料品・雑貨

サトウチップ

(5・15・25日 2倍セール)

タウンマート サトウ

新屋元町11-24 ☎ 828-3911 FAX 3107



メガネのシモマ

秋田市新屋表町12-47 ☎828-4622

秋田大橋のたもと



創業1960年

新屋石油(資)

828-4125

ガソリンスタンド

自動車整備工場

御料理・折詰・仕出し

工 藤 旅 館

新屋扇町3-22 ☎ 828-4706

あ ら や 整 骨 院

☎ 828-0177

秋田市新屋扇町12-22

吉 田 眼 科
吉田コンタクトレンズ

新屋日吉町7-41 ☎ 828-6080

ワタキューセイモア
株式会社

病院用等寝具・白衣リース・洗濯業務

秋田市新屋島木町1番69号 ☎018-828-4851

郵便局株式会社——地域貢献

新屋駅前郵便局

局長 石黒 俊彦

〒010-1637

でんわ 828-4200

FAX 828-0958

小規模多機能型
居宅介護 ひかり苑小規模多機能型
居宅介護 ありがとう

やすらぎホーム きざし

“信用と技術を売る店”一級寝具技能士
打直し・仕立・寝具一式
タオル花輪・贈答品ギフト各種

阿 部 ふ と ん 店

☎ 828-1204

電話下さればすぐ伺います。
秋田市新屋元町22-43 (新屋郵便局そば)

(株)ウェルフェア

〒010-1632

秋田県秋田市新屋大川町11-18

TEL: 018-828-8006

年金の
お受け取りは
新屋郵便局で

暮らしと情報の明日をひらく

あなたの街の新屋郵便局

〒010-1631 秋田市新屋元町22番38号

TEL018(828)4324

(親切・迅速・安心)
さわやか薬局新屋店

秋田市新屋表町4-1

☎ (888) 8371・Fax (888) 8372

もとまち歯科医院

西村 圭史

新屋元町5-38

☎ 888-8814

三菱マテリアル
株式会社秋田製錬所
所 長 京 野 周 平

秋田市茨島三丁目1番18号



おしゃれサロン

みうら

秋田市新屋栗田町16 ☎(018)828-2156

駐車場あります

出光興産新屋給油所

新 屋 ア ポ ロ

大川町10-25 TEL 828-4224



カーテン・ジュウタン・クロス

鈴 木 内 装

日吉町7-17 TEL 828-5144

鈴木 富 夫

フリーペーパー

Hug-Motto

子どもと地球を抱きしめ、育むマガジン ハグモット

好評発行中!!



●お問い合わせは

ハグモット編集部 ☎018-888-8240

(株)全農ビジネスサポート 秋田支店内



より確かな、
安全のパートナー

株式会社 電洋社

代表取締役 八代 千秋

〒010-1633 秋田市新屋島木町1-76

TEL 018-888-9200

FAX 018-828-9212

URL <http://www.dys.co.jp>

〒010-1637 秋田市新屋扇町7番44号

株式会社 秋田ト一屋新屋店

電話 018(888)8055

みそ・しょうゆ・手作りつゆ 醸造販売元



森 九 商 店

シキマ

森 川 亮 一

秋田市新屋表町 9-40 ☎018(828)2121

ブティック **ティファニー**
店主 小野 トシ子
新屋扇町 92-74

『髪に優しく 人に優しく』

PIXIE

Of Hair

〔美容室 ビクシー〕Tel:018-828-8807
秋田市新屋扇町11-22-1

カーコンビニ倶楽部 小玉自動車

民間車検工場、全労済指定工場、車検、钣金塗装
良い設備、すぐれた技術、まごころサービス

秋田市新屋扇町 7-8 **828-5645 (代)**

新鮮一番(鮮魚・野菜・果物)

大塚 商店

TEL・FAX **(828 4307)**



ISO 9001 認証取得

株式会社

FOREVER

フォーエバー

代表取締役 穂積 憲

〒010-1632 秋田市新屋大川町18-7

TEL 018-828-1850 FAX 018-828-5264

介護付有料老人ホーム ソフィー
介護付有料老人ホーム グリーン
介護付高齢者優良賃貸住宅 ほのか
フォーエバー ケアプランセンター
フォーエバー ケアサービスセンター
デイサービスセンター ミナミ

おむすび・お弁当各種注文も受け致します!

あなたと、コンビニに、

FamilyMart

24時間営業 秋田新屋扇町店
年中無休 ☎888-8233

がんばろう
東北!



おきた町診療所

消化器科・内科・肛門科・外科

秋田市新屋沖田町 5-2 TEL **828-5522**

梅若芸能企画

〒010-1637 秋田市新屋扇町85-22

TEL (018) 828-4638

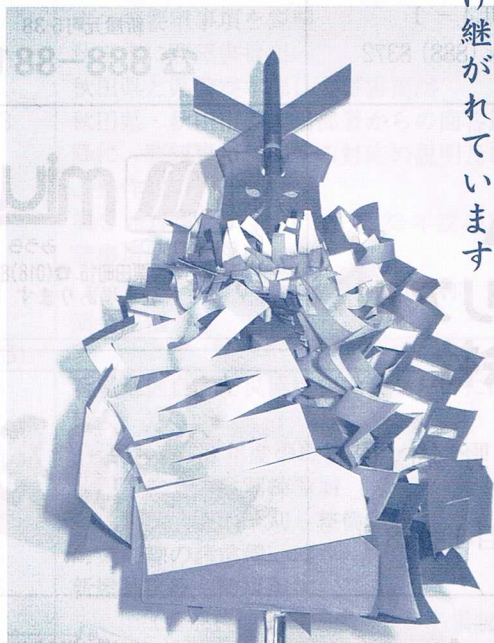
FAX (018) 828-1088

港 中 央 薬 局

秋田市新屋大川町15-1

TEL 018-828-9060

FAX 018-828-6251



8月7日は水神のまつり
新屋には水に感謝するまつりが
受け継がれています

日吉神社

秋田市新屋日吉町10番67号

TEL 018-828-3033



新 屋
高長寿司

電話(828)2522